

2023職場体験感想文コンクール

タイトル	子供達の笑顔を守る	事務局	203
学校名	酒田市立第二中学校	氏名	佐藤 千華

私はまだ将来の夢に迷いがある。小学生の頃から、子供一人一人の気持ちに寄り添い、たくさんのお話を教えてくれた小学校の先生に憧れていた。しかし中学生になってから、小さい子供達の成長を近くで見守り、サポートすることができる幼稚園教諭や保育士にも憧れるようになった。友達の中には、夢や進路を決め、前に進み出している人もいる中で、まだ迷いがある自分に焦りを感じることも多い。学校でも3年生の先輩方が本格的に受験シーズンに入り、先生方から「受験」「入試」「進路」という言葉を多く耳にするようになった。来年の今頃は「受験」に向けて自分自身が本気で頑張らなければならないと思うと、不安や焦りは大きくなるばかりだった。

そんな私に笑顔と元気をくれたのは、9月に行った職場体験で出会った浜田小学校の子供たちだった。職場体験では4年2組を担当させていただき、最初はとても緊張して不安なことも多くあったが、子供達との関わりを通して、本当にたくさんのお話を学ぶことができた。私は主に授業中に児童のサポートをしたり、自学ノートや漢字ドリル、算数の問題などの点検、プリントなどの掲示を行ったりしていた。また、休み時間には、子供たちとたくさんコミュニケーションをとりながら、おにごっこやドッジボールなどで全カで遊ぶことができた。まるで小学生の頃に戻ったかのように時間を忘れて楽しむことができたし、先生方や子供たちとの関わりを通してとても貴重な経験をすることができた。私が2日間の職場体験を通して学んだこと、教えていただいたことは、周りをよく見て、児童一人一人に気を配りながら、行動することの大切さや、子供達と関わることの楽しさや大変さである。担任の先生は、一人で30人近くの見守りをまとめ、的確な指示を出していたり、中学校とは違い、教科担任の先生がいないため、ほぼ全ての教科の授業を一人で受けもったりしていた。それにずっと立っていて、座っているとかがほとんどないような状況だった。児童を担任する教師という立場に求められる技術・能力や

ほとと多いため、働く上で大変なこともたくさんあるということを知った。一方で、子供達と一緒に遊んだり、たくさん話したりしたこと、たくさん笑顔を見ることができ、子供と関わることの楽しさを改めて学ぶことができた。また、実際には働く先生方は、常に広い視野を持って、児童一人一人に気を配りながら働かされていたり、授業中には、児童にわかりやすいように見やすく大きな字で黒板に書いたり、教室全体に響くように大きな声で話したりしていた。小学生の時には気が付かなかった先生方のちよとした工夫が、児童の学習や生活の大きな支えになっているということと、実際に働く先生方の姿から学ばせていただいた。

この職場体験を通して、教育という面から子供達と関わることのやりがいや楽しさ、大変さを学ぶことができた。より一層小学校教師や幼稚園教諭、保育士への憧れの気持ちが強くなった。しかし、自分の将来への不安は完全に消えたわけではない。ただそのおかげで、今の自分の目標が、はっきりと見えた。それは、「子供達と関わることのできる仕事に就くこと」として「子供達の笑顔を守ること」まだはっきりとこの職業に就きたいと決めたわけではないが、小学校教師でも幼稚園教諭でも保育士でももっと他の職業でも、「教育」という分野には「子供達と関わり、笑顔を守るために働く」という共通点があることに気付いた。だから私は、これからしっかりと自分と向き合い、自分に合った職業を見つけたらいいと思う。そのために、今はたくさん悩んで迷ってを繰り返し、いろいろなことに挑戦して今しかできないことを思いっきり楽しみたいと思う。